

令和7年度岩手県立博物館協議会議事録

1 開 会	事務局より、委員 15 名のうち 11 名の出席により、岩手県立博物館管理運営規則第 9 条に規定する委員の半数以上の出席という要件を満たしている旨報告された。
2 館長挨拶	坂本館長より挨拶があった。(挨拶内容省略)
3 委員紹介	(出席者名簿により自己紹介)
4 職員紹介	(出席者名簿により出席職員を紹介)
5 会長選任	岩手県立博物館管理運営規則第 8 条第 1 項の規定に基づき、会長に太田厚子委員を選任した。 太田会長から、会長職務代理者として熊谷治久委員の指名があった。
6 議長就任	岩手県立博物館管理運営規則第 8 条第 2 項の規定により、議長は会長が務めることとされていることから、以後の議事は、太田会長が進行した。

7 議 事 (1) 報告事項 報告事項 ア 【質疑応答】	「令和 6 年度博物館協議会における意見等への対応状況」について、事務局から説明。 (説明内容省略) (特になし)
報告事項 イ 【質疑応答】 ◆細田委員  ◇博物館	「令和 7 年度岩手県立博物館事業実施状況」について、事務局から説明 (説明内容省略) (特になし) 昨年度の意見についてご回答いただき、ありがとうございました。 収蔵庫スペースの問題について、資料収集方針等の改定に着手したとの説明でしたが、少し中身について、方向性とか、具体的なものとかあればお話いただければありがたい。 資料収集方針、当館が開館の時に定めて今から 40 数年前ですが、現在も運用をしております。ただその段階では、戦前のものまでを収集すると、例えば東日本大震災のような大きな出来事に関する資料といった部分は記載がありませんでした。現在、博物館に求められるような資料、博物館でどういうものがこれから必要なかという部分を、方針としてしっかり明記するということを前提として今、改定を進めているところです。 それから、収集保管要項に関しましては、これまで受け入れたものはすべて、保管するという前提で運用してはきましたが、劣化が進んだり、或いは破損したり、どうにも今後活用の見込みがないものに関しては、場合によっては、処分を前提とした検討も行えるような仕組みを整えたい。ただ、処分に当たっては、館だけで単独で判断するのではなくて、いろいろな有識者の方のご意見をいただくよう、きちっとルール化をするべく、今、検討を進めているところです。 受け入れが進むと、どんどん容積を食ってしまうばかりで、それをできるだけ持

	<p>続可能なように、収蔵庫以外で保管できるものがないかどうかというところも含めて、いろいろ検討を進めていますが、まだ具体的にこれっていうところまでは、至っておりません。</p>
<p>(2) 協議事項</p> <p>【質疑応答】</p> <p>◆酒井委員</p> <p>◇博物館</p> <p>(3) その他</p>	<p>令和8年度岩手県立博物館事業計画（案）について、事務局から説明（説明内容省略）</p> <p>岩手における続縄文期、古墳時代墓制関連遺跡調査について、どのようなことでこれを始めたのかお聞きしたい。</p> <p>県からの委託により行う県内遺跡の調査研究で、5か年計画のものですが、現在続縄文期から古墳時代にかけての関連遺跡調査ということで進めています。</p> <p>財源としては、文化財関係国庫補助事業です。令和8年度は一戸町の親久保Ⅱ遺跡の発掘調査予定と記載しておりますが、現在その場所の選定も含めて、県教育委員会と博物館とで検討中のところでして、また来年度になってから改めて計画を定めるということでございます。</p> <p>（特になし）</p>
<p>◆太田議長</p> <p>◆川崎委員</p>	<p>委員の皆様から、議題として取り上げたいものなど何かございますか。</p> <p>ないようでしたら、ご意見等、日頃思っていらっしゃる感想等も含めながら、せっかくの機会ですので委員の皆様方に、お一人ずつお話いただければと思います。</p> <p>繰り返しのようになってしまいますが、昨年度の質問で細越委員さんからあったショップの話も含めまして、人が集まるような博物館という、そういうことをどういうふうにしていったらいいのだろうと思ひながら、私が子供だったら、親に行くぞって言われてでもいいし、何か食べさせてくれそうだから行く、みたいなそんな気持ちにもなるのかなって思ひながら、そういう意味での何かお店とかもあっていいのかな、或いは今、休憩スペースになっているということでしたので、高校生の絵なり書道とかを飾らせてくれるとか、何かそういうような形でも人が集まるような形を作れば、というふうに思ひます。</p>
<p>◆森本委員</p>	<p>昨年度、友の会が解散されたっていう話を聞いて、県内の博物館として非常に危機感を覚えたんですけども、博物館で関わってくださってる市民の方でも、やはり県博育ちという方はいらっしゃるんですね。子供の頃、県立博物館の行事に参加したり、或いは親御さんと一緒に友の会の運営側として活動したり、数としては顕著ではないですけど、やっぱり博物館を使って主体的に活動する人たちが次の世代を産んでいくっていうサイクルは確実にあると思います。</p> <p>友の会という形は変わったんですけども、今後も市民の方が主体的に関わる、積極的に関わっていただけたら、我々としても大変ありがたいなと思っております。</p>



◆石川委員	<p>外トイレの防犯についてのご質問ですが、冬場は閉鎖しております。夏場は開けておりますが、警備員の巡回はありますが、特に普段、防犯対策としてカメラ監視とか、そういったことはございません。</p> <p>なんかいろいろ最近事件があるので、ちょっと気になってお伺いしました。</p>
◆佐藤委員	<p>初めて出席したんですけど、先ほど森本委員から博物館友の会の件でお話がありました。できて3年目から事務局を、トータルで20年近くやったんですが、会員数は5分の1ぐらいに減りまして予算も立てられなくなったんです。それ以上に事務局が事務、会長と、ほかに20人ぐらい企画委員として出していたんですけど、30年、歳を取りまして、もう80から90代の方がほとんどでして、やはりいろんなことが、なかなか行事ができなかったりとか、新しくしてくれる方もいなくなったので解散したんですけども、80代90代の方たちの話をたまに聞くと、やはり行事が何をやってるかわからないと、さっきおっしゃったようにホームページを見ればわかるんですけど、やはり、ホームページを見ることできない、パソコンを持っていないと見れないわけです。</p> <p>「博物館だより」みたいなものだけでも1000円とか2000円とか払って送付してもらえるといいな、というようなことを話してる人もいました。</p> <p>そういったことも検討いただけたらと思いました。</p>
◆山本委員	<p>文化財等取扱講習会をやっていただいていたありがたいなと思っております。学芸員の資格がないという人たち、勉強になったって言っております。特に文学館の方は紙の資料の取り扱い方を学びたいというふうに思っております。今までもご指導いただいておりますけれどもよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>講習会がなくても、資料を借りに行った施設の方が学芸員の方からとても親切に資料の取扱いを教えていただいた、と喜んできたりして、これからもよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それからもう一つなんです。先ほど以来、食について、食べ物について話がありましたけれども、これは参考になるかどうかわかりません。環境が違います。岩手県民の森の秋と啄木という、その時にやはり食べるもので皆さんが来ると思いまして、周辺の、少し離れてますけれども、県民の森から歩いて行ける範囲内のレストランとか喫茶店ですとか、そういうところにコラボメニューっていうのを「森のイタリアン 啄木風カルツオーネ」という、それからもう一つ、喫茶店では「啄木鳥の響き」コンフィューユを出す、そしてもう一つ、3箇所ありまして、「啄木・節子の恋焦がれプリン」というのを出すという、そういうふうなコラボメニューをしてそうすることによって周りも活性化するんじゃないかなっていう、これは3年前からやって、引き続きやってみたいと思っているんですけども。</p> <p>博物館の周辺の食堂レストラン、無いように思いましたけれども、もしあれば、そういうところとコラボで何かやるっていう、周り、地域の発展ということ等も考えて、何かなさってみてはどうかなっていうふうに思っております。 以上です。</p>

<p>◆鈴木委員</p>	<p>テーマ展で今後予定されてる岩手の絶滅危惧種とネイチャーポジティブって話がありましたけど、ちょっと見て思い出したんですけど、つい昨年ですと、岩手県のレッドデータブック、絶滅危惧種のリストが出たんですけど、それを編さんする数年前のときに、その時の代表の委員長が、皆さん委員がメンバーみんな集まってこれからやってもらいますっていう時に「ここにいる皆さんが絶滅危惧種です」って言ったのを覚えてる。</p> <p>よく見たら、あ、僕でも若い方だと。大体60過ぎも若者扱いなんで、この分野は。そう考えたときに、県の博物館の生物の方々僕存じ上げてるんですけども、やはりそういった意味では、非常に貴重な存在であるというのは間違いなくてですね、岩手大学さんとか、うちもありますけど特に農学部とかに行けば誰かいるというような話ではなくて、生き物を扱える先生っていうのは、そういう専門の知識を持ってる人の数は相当減ってます。岩手県内は。なので、その中であって県立博物館のスタッフというのは非常に貴重な存在だというのは、私自身も一緒に調査しながらやってることあるんですけども感じているところなので、ぜひ、そういった意味ではもう、言い方あれですけど、頑張っていたきたいというところを常に思っています。</p> <p>あと、レストランの話があったんで思い出したんですけど、よく僕もいろんな博物館をめぐるんですけど、やっぱり、有名な博物館、例えば琵琶湖博物館とか、ああいう所って大体レストランに何かコンセプトが近いところで何か、ここにしか食べられないメニューってありますよね。琵琶湖博物館って特に何かもう、ブラックバスとか敵視してますんで、琵琶湖で釣ったやつをみんな調理して、バスのフライとか、そういうのも、普通にレストラン出すんですよ。そういった形で、ここでしか食べられないもの、周りの店とのコラボでも勿論いいと思うんですけど、そういったメニューの過程から、ちょっともう1回中身を見直してみる。その上で、もしかしたら入館しなくても食べられる位置であるといいのかなっていう、美術館とかそうですよね。レストランは別ですよ。ちょっと難しいんですけど、レイアウト的にどうなのかなっていうのと、食べて入っていくこともあるでしょうしね。客寄せって言っちゃあれですけど、何かもうちょっと一工夫あってもいいのかなあとは思っているところです。</p> <p>これはもう、最後はちょっとコメントです。ありがとうございます。</p>
<p>◆桂川委員</p>	<p>私が協議会委員としてここにいるというのは、20代とか30代ぐらいのフレッシュな意見が求められているのではないかなと思って、その目線から何か話さなきゃなと思っているのですが、20代とか30代40代ぐらいの方々が博物館に来るっていうところが、やはりお父さんお母さんだったら、お子さんを連れてきたりするのがまず一番かなと思って、先ほど初めにお話してくださった、子供たちの作品を飾っているというのは、すごいわかりやすい、手っ取り早いなっていうかすごく、いいなって最初にお話伺って思いました。私、葛巻町の職員なんですけれども、やはりイベ</p>

ントをするときも、子供のまずダンスをしますっていうと、お父さんお母さんおじいちゃんおばあちゃんが、まず見に来るので、集客がもうそこで大分、あると無いとでは大違いっていうのは、小さい町ですけど、イベントをやれば、必ずそこは成果として出てくるところだなというのが今そのとおりだなと思ったので、何かこう、その場での披露イベント的にするのもいいでしょうし、作品を飾るっていうのも1つ、やはり来てくださってる方って結構やっぱりリピーターの方が多くて、来たことない人って本当にちょっと、正直道からも見えない場所ですし、葛巻町からすると来るっていうのが結構このために、ついでに寄るっていう感じじゃないので、ちょっと億劫な感じがしてしまうので、そういうところの、作品が目当てでもいいので、1回来てみると、博物館に足を運ぶっていうそのきっかけづくりになるのかなと思いました。そして今度、まだお子さんがいないような大学生とか、20代、の人がどうやったら来るかなと思ったときに、なかなか難しいんですが、今日のご意見の中で、やっぱり紙媒体があったほうがいいよっていうご意見もやはりあるのもその通りで、うちも同じで、やはりデジタルを求めている層と、紙を求めている層がやはり今いるので、どちらにも寄り添う形で情報発信しないと、誰もが満足ができなくて、ちょっとこう、部局とか、発信する側にとっては、どちらにも配慮した形でやらなければいけないのは大変だと思うんですけど、ちょっと過渡期というか、デジタル100%にもちょっとまだ慣れないですし、紙だけにするとちょっと20代とか30代は、いないかなとか、邪魔になってしまうっていうところがあって、30代でいうと、LINEとかで今これやってますとか、これが見頃ですとか、そういうのが流れてきた方が行きやすいなっていうのは、行く場所を決める時に、そうやって行っている自分があるので、若者にとってはそっちの方が身近になるのかなと思います。

食堂の話とかグッズの話もあるんですが、やはりこういうところに来る目的って何か買いたくて来てるので、なんかよく私が買うのは、手ぬぐい。大好きで、すごいいっぱい古墳手ぬぐいとか、土偶手ぬぐいとか、すごいありとあらゆる博物館のものを収集してまして。出来たら絶対買います。結構私の近くでもそういう人いて、実用的なもの、ハンカチとか手ぬぐいとかだと、なので、ありがたいな思ったり。去年の意見にもガチャガチャとかあったので、それは確かに今どこの博物館でも、つい大人もやっちゃう。いいなと思います。あと、化石のレプリカ展。本屋さんとかラボするっていう話もあったので、何か、さっき食の地域と食のラボの話もありましたけど、ラボするってなるとラボ先の方々の関わる方が増えるのでやっぱり来る方って増えると思うので、ラボするっていう機会は増えていけば、もっと間口が広がるのかなと思います。

<p>◆熊谷委員</p>	<p>こちらの資料を見させていただきまして、改めて、博物館に学校の方でお世話になってるということが大変多いなと感じたところで、ありがとうございます。本校でもお邪魔させていただいて、これはキャリア教育なのかなあというふうに思うんですが、様々な分野の学校教育をお支えいただいていることに感謝をしたいし、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それからまた、来年度の予定の方を見させていただくと楽しみだなあというふうに思うところなんですけれども、様々こう、それぞれ一般の方々も興味が多岐にわたるといふか、いろいろなものに興味があるんだろうなと思って、そういった方が「おっ」と思うような刺さるといふか、そういったところをさらにまたチャレンジといふか、していっていただくことを期待したいなと思っておるところで、頑張っただけでありがたいなと思っております。</p>
<p>◆太田議長</p>	<p>今、日頃思っらっしゃる感想等含めまして、委員の方々から突然でございましたが、様々お話しいただきまして、誠にありがとうございます。まずは足を運んでいただくために、そして滞留していただくためにということに柱に据えながら、県民の皆様が、本当に参加できる、主体的に関われる取り組みであったり、また、子供たちが積極的に足を運ぶために何が必要かっていうことを考えていただいたり、やっぱりイベントや企画っていうもの、よくあるものをやってもなかなか伝わっていかないので、アナログ部分のところと、どのような棲み分けをしていけばよいのかってということと等お話しいただきました。ぜひ、ご検討いただきながら進めていただければと思います。</p> <p>また、本日ご出席の前館長であります、高橋社会教育等推進参与いらしておりますので、ぜひ、いかがでしょうか。</p>
<p>◇高橋参与</p>	<p>私4月から十分時間がありまして持て余しているんで、博物館とか美術館巡りをしてるんですけども、コロナも収束してようやくですね、安心して、文化施設等にいらっっしゃる方々も多くなってきているように感じまして、まだまだ元には戻らない気がするんですけども非常にうれしく感じているところです。</p> <p>次に先ほどありましたけど、来年度、岩手盛岡で全国博物館大会が開催されます。実は今月の20日にちょっと博物館・美術館を觀に東京に行ってきたんですけど、その際に上野に寄って日本博物館協会の半田専務理事ともちょっと会っている話をしてきたんですけども、この岩手大会にかける思いは非常に強いなという思いがいたしました。特にも震災で岩手、東北に支援をした方々がですね、岩手開催を大変喜んで、早く行ってみたいなあと言っているそうなので、11月が非常に楽しみだなと思っております。震災後の東北そして岩手の文化財等の修復事業については勿論のことなんですけれども、震災後頑張っている岩手東北の姿を全国の方々に見せる絶好の機会だと私は思っておりますので、県立博物館を中心としてですね、様々な企画をですね、全国大会に披露していただければなというふうに思っています。以上です。</p>

◆太田議長	<p>はい。期待を込めて本当に皆で応援していきたいと思います。</p> <p>一通り皆様からご意見頂戴したり感想いただいたところなんですけど、さらに言い残していたこととか、他の委員の発言を聞き、つけ足したいというようなことございませんか。</p>
◆川崎委員  ◇博物館	<p>先ほど鈴木先生からもちょっと人数の話とかありましたが、私高校の教員なので教員不足だとか、役員不足だとか、そういうふうな話もあるんですけど、博物館を目指そうという学生さんとかですね、或いは講座を受ける学生さんの人数は、昔と変わらないものなのかどうか。何でしょう、高校生にアピールして、こういう道を進ませるような人を、もう少し養成したほうがいいのかどうか、そういった点をちょっともし教えていただければと思います。</p> <p>毎年行っております館園実習、博物館実習ですね、大体10名、2週間となるので多く来てもらいたいのはやまやまなんですけれども、ちょっとそういうところもありますので、大体、10人から20人までっていう形で、ちょっと絞らせていただかざるを得ないという状況です。それから、職場体験等に関しましては、毎年何校かは申し込みをいただいているところでございます。</p>
◆太田議長	<p>子供たちがそういった仕事に興味を持っていくような取り組みっていうのも、非常に大事だろうなと思います。</p> <p>ほかに皆様方からございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>それではこれをもって、議事の一切を終了いたします。ご協力ありがとうございました。</p>
◇坂本館長	<p>一言お礼を申し上げます。まず長時間にわたりご協議ありがとうございました。今日はレストランのメニューですとか、それから、ミュージアムショップの具体的なグッズですとか、本当に、頭にイメージが湧くようなご意見をたくさんいただきまして、大変ありがたく思っております。</p> <p>今日いただきましたご意見につきましては、これからの館運営にできる限り生かしていきたいというふうに考えております。また、この協議会に限らず、何か普段お気づきのことがあればお話していただければというふうに思っておりますので、併せてよろしく申し上げます。</p> <p>それでは引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げまして、簡単でございますが御礼の言葉とさせていただきます。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
8 閉会	<p>これをもって協議会の一切を終了。</p>